



# 接着部の水中疲労試験

接着剤の繰返し負荷における水の影響を評価いたします。

## 目的

マルチマテリアル化により異種金属や樹脂を接着剤で接合するケースが増えてきています。一般的に、接着剤は水分に弱いとされているため、さまざまな試験規格において、温湿度が管理された環境での強度評価方法が制定されています。当社では、水分の影響を評価する試験方法として、最も厳しい水中浸漬環境下で接着部の疲労試験を行います。

## 評価方法

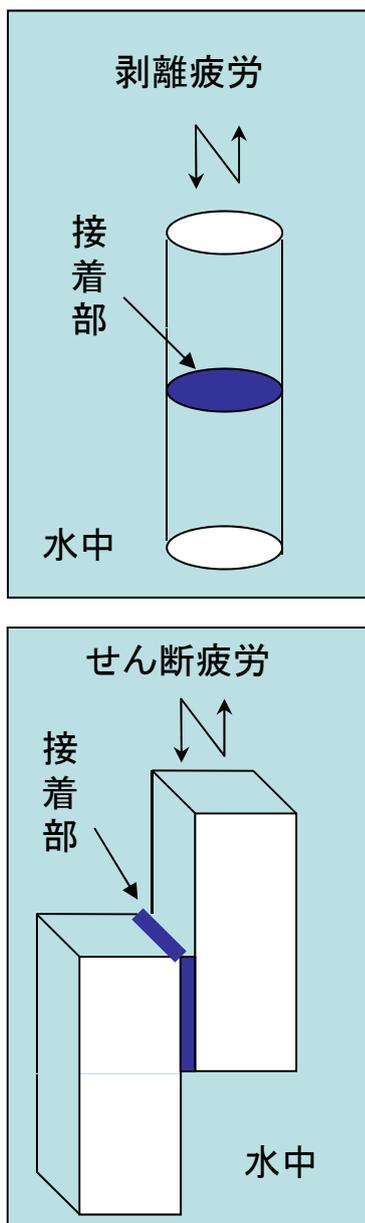


図1 水中での疲労試験方法

一般的に、接着部の評価は剥離強度とせん断強度の疲労試験を行います。図1に示すように、水中浸漬環境下において繰返し負荷を行うことで水分の影響を評価します。また、接着剤で組み上げたあらゆる部品や接合部について、水槽を作製することにより水中での耐久性評価が可能です。繰返し荷重に対する耐久性評価試験(疲労試験)の結果例を図2に示します。大気中よりも大幅に強度低下することを定量的に評価できます。

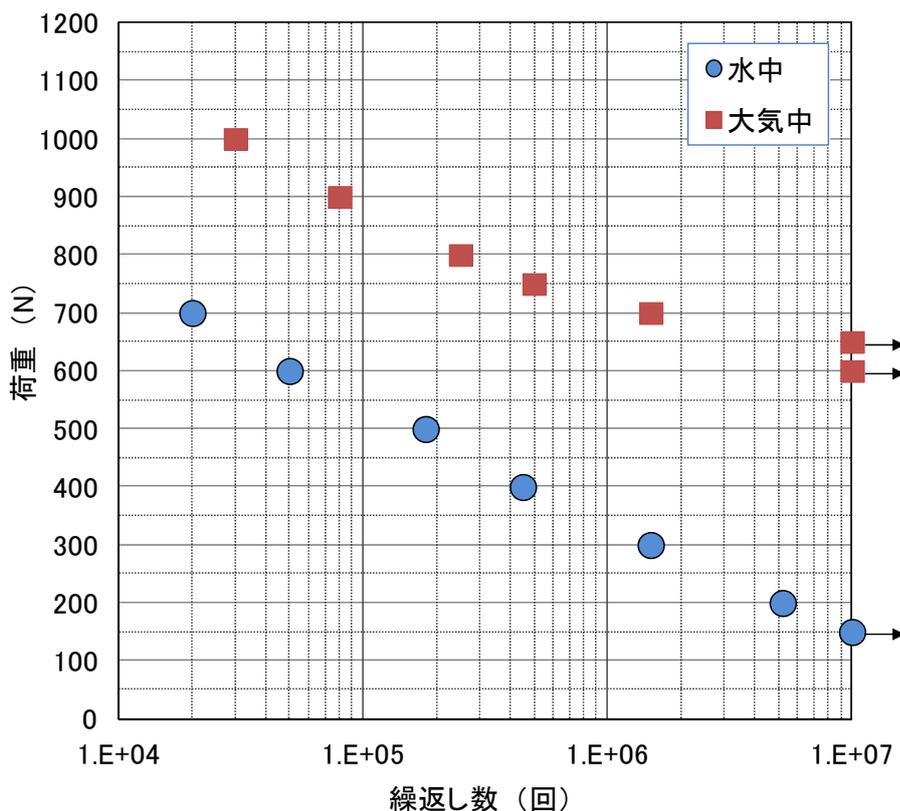


図2 疲労試験結果(例)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。